

質問（22 条関連）

大阪府適判指針の基礎の捩じれ耐力において、Bach の式の問題点が書かれており、ある時から、RC 規準に当式は記載されないようになった旨が書かれていますが、2018 年版では記載が復活している理由は何なのでしょう。

（あい設計 寺島雄一郎）

回答

Bach の式は、長方形断面の部材について、純ねじりモーメントにより生じる最大せん断応力度 τ_{\max} を近似的に求めるものですが、1988 年の改定時に一度削除されました。その理由については 2010 年版 Q&A の No.53 にて説明されています。しかし Bach の式そのものに問題があるわけではなく、 τ_{\max} を算定する方法のひとつとして 2018 年版で復活させました。ただし、実際の部材にはねじりモーメント以外の各種の応力も同時に生じますので、それらをどのように組み合わせるか設計者が適切に判断する必要があります。